

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 480 号	氏名	岡本 健太
学位審査委員		主査	安田 二郎
		副査	平山 謙二
		副査	中込 治
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、デングウイルスが宿主細胞に吸着する際に必要とされるレセプターについて、これまでに報告されている分子以外にもレセプターとして機能する分子が存在することを明らかにすることを目的としており、十分に妥当なものである。</p> <p>2 研究手法に関する評価 研究手法としては、デングウイルス研究に汎用されているデング 2 型ウイルス (DEN2) 16681 株とこの株に低感受性を示すヒト前骨髄性白血病細胞 K562 細胞を用いて、フローサイトメトリー法、マイクロアレイ法、siRNA ノックダウン法など最新の解析法を用いてレセプターの同定を試みており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、Syndecan-2 (SDC2) が DEN2-16681 株のレセプターとして機能することを明らかにしており、また SDC2 のレセプターとしての機能に Ser41 に修飾されるヘパラン硫酸糖が重要であることも突き止めている。デングウイルスの細胞・組織向性や病態の理解への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文はデングウイルス研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			